

地域コミュニティの強化に向けた 損保ジャパンの取組み

2026年2月12日

損害保険ジャパン株式会社

カルチャー変革推進部サステナビリティ推進グループ

加藤拓

創業の想いからつながる “HIKESHI DNA”

- 1888年10月、日本初の民営火災保険会社として「東京火災保険会社」を創業
- 創業の想い『人々のくらしを罹災からお守りしたい』
- 当時、正式に認可された唯一の私設消防団「東京火災消防組」24時間365日 身を挺してお客さまを守る

火消し



火災の報せがあれば、いち早く駆け付け暮らしを守る「火消し」という地域の課題解決



社会課題解決 <防災・減災>

激甚化する自然災害への対応、社会課題の解決が現代の「HIKESHI」としての使命



災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現へ

主な社会課題

- ・少子高齢化
- ・労働力不足
- ・地方の過疎
- ・空き家問題
- ・災害リスク
- ・ジェンダーギャップ
- ・気候変動対応
- ・エネルギー安全保障
- ・DX/AI、STEM教育
- ・LGBTQ+の権利保障

など

地域コミュニティ強化



損保ジャパンが目指す社会

災害に強い社会

誰もが活躍できる社会

「損保ジャパンでよかった。SOMPOでよかった。」



防災ジャパنداプロジェクト
Bosai JAPAN-DA Project

大切な人を想うと、防災を学びたくなる。



- ・東日本大震災で災害対応に従事した社員の想いで2014年に誕生
- ・全国で延べ約150,000人の市民の皆さまが参加(2025年12月末)

防災・減災の取組み ～防災ジャパンダプロジェクト～

SOMPOで学防ツチャ
(まなぼっチャ)
特定非営利活動法人石川
バリアフリースターセンター



防災リュックを考えよう
(学生団体)福島大学災害
ボランティアセンター



交通ジャパンダ
～きけんをさがせ!～
特定非営利活動法人
プラス・アーツ





- ・災害発生時に、避難地点へ到達するまでの時間を色分けし、避難方向を図示
- ・「逃げ地図」づくりを通じたコミュニケーションや地域の助け合いである「共助」、防災や避難を自分ごと化して守る「自助」の形成 ※30都道府県59市町村で実施



- ・主催は日本NPOセンター、児童健全育成推進財団が協力、当社が協賛し
2022年10月にスタート
- ・2025年9月末までに246回のイベントを開催し、延べ**28,000人以上**の方が参加